

戦略1 地域産業の振興と雇用の創出

重点プログラム
I <b>ビジネスチャンスをとらえた産業の創出</b>
II <b>力強い農業経済活動の創出</b>
III 正規雇用拡大等による雇用の質の向上
IV 秋田港をいかした環日本海貿易の促進
—

戦略1 先端技術を活用した地域産業の振興としごとづくり

重点プログラム	説明
I <b>地域の強みをいかした産業の育成・創出</b>	・地理的優位性やこれまでの産業集積等の資源をいかしながら、中小企業の新分野進出や事業拡大の支援、起業家の育成、新ビジネスの創出を図る。
II <b>都市と共生する活力ある農業の実現</b>	・都市近郊型農業を確立し、農村の活力の維持と農業の持続的な成長・発展の実現を目指す。
III 正規雇用拡大等による雇用の質の向上	
IV 秋田港をいかした環日本海貿易の促進	
<b>新規</b> V <b>先端技術を活用した地域の活性化</b>	・社会のあり方の変化に対応しつつ、地域の活性化につなげるため、AIやICTの導入・活用、デジタル化等の推進を図る。 ・今後のまちづくりのモデルとして、民間との協働により、先端技術を活用し、観光、スポーツ、環境、防災などと一体的に展開することで、人口減少・少子高齢化に伴う地域の課題解決につなげていく。

先端技術を活用しながら、地域産業の振興と、雇用に限らず、起業や事業承継、就農も含めた「しごとづくり」を進める。

戦略2 芸術文化・スポーツ・観光による都市の魅力向上

重点プログラム
I <b>芸術文化によるまちおこし</b>
II トップスポーツへの支援
III 観光振興とセールス・プロモーションの強化

戦略2 芸術文化・スポーツ・観光による都市の魅力向上

重点プログラム	説明
<b>拡充</b> I <b>芸術文化の香り高いまちづくりと中心市街地活性化</b>	・「芸術文化によるまちおこし」を発展させ、「芸術文化の香り高いまちづくり」とする。 ・特に中心市街地においては、あきた芸術劇場や秋田市文化創造館の開館をはじめとした芸術文化ゾーンの形成を進めることなどにより、中心市街地のさらなる活性化を目指す。
II トップスポーツへの支援	
III 観光振興とセールス・プロモーションの強化	

戦略3 豊かな自然をいかした環境立市の確立

重点プログラム
I <b>秋田らしい環境共生スタイルの発信</b>
II 市・事業者・市民の協働による循環型社会の構築
III <b>新(省)エネルギー設備の導入拡大</b>
IV <b>環境関連産業の育成・創出</b>

戦略3 未来につなぐ環境立市あきたの推進

重点プログラム	説明
<b>統合</b> I <b>豊かな自然をいかした環境共生スタイルの創出</b>	・本市が持つ豊かな自然との関わりや、環境関連産業の創出、森林環境税の創設による森林整備の促進などを通じて、環境との共生スタイルを創出・発信するという視点から、IとIVの要素を統合する。
<b>統合</b> II <b>温室効果ガスの排出抑制によるゼロカーボンの推進</b>	・世界的に温暖化が進行する中、今後一層の対応が求められることから、新(省)エネルギー設備の導入拡大など温室効果ガスの排出抑制により、ゼロカーボンを推進する。
III 市・事業者・市民の協働による循環型社会の構築	
—	・位置づけられていた3事業は、Iに移行する。 【移行する事業】・森林整備地域活動支援事業 ・森林環境保全整備事業 ・未来の暮らし創造事業(ライフスタイル変革事業)

世界的な環境問題への取組を踏まえ、持続可能な未来に向けた取組をさらに推進する。

戦略4 子どもを生き育てやすい社会づくり

重点プログラム
I 支えあいによる子ども・子育て支援
II <b>子どもの安全安心の確保</b>
III 若い世代の希望の実現

戦略4 子どもを生き育てやすい社会づくり

重点プログラム	説明
I 支えあいによる子ども・子育て <b>家庭への支援</b>	・現プログラムIIの範囲が限定的であるため、「I 個人や家庭への直接的な支援」、「II 環境づくり」の2つの視点で整理する。 【IからIIに移行する主な事業】
<b>整理</b> II <b>安心して子育てできる環境の整備</b>	・ワーク・ライフ・バランス推進事業 ・奨学金返還助成事業(保育士・保育教諭) ・保育士人材確保推進事業
III 若い世代の希望の実現	

戦略5 いきいきと暮らせる健康長寿社会づくり

重点プログラム
I 生涯を通じた健康づくりと生きがいの推進
II 高齢者の多様な能力の活用
III バリアフリー化の推進
IV <b>高齢者の移動手段の確保</b>
V 多様な生活支援サービスが利用できる地域づくりの推進

戦略5 いきいきと暮らせる健康長寿社会づくり

重点プログラム	説明
I 生涯を通じた健康づくりと生きがいの推進	
II 高齢者の多様な能力の活用	
III バリアフリー化の推進	
<b>拡充</b> IV <b>将来にわたり持続可能な公共交通の実現</b>	・大都市からの移住希望者の増なども見据え、高齢者に限らず、生活に必要な移動手段を確保し、人口減少下にあっても持続可能な公共交通の実現を図る。 【新たに位置づけが想定される事業】 ・地方バス路線維持対策経費 ・交通系ICカード導入推進事業 等
V 多様な生活支援サービスが利用できる地域づくりの推進	